



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』
1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』
1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会

5月15日第559回例会

□ブッフスタイル例会のため卓話はありません

◎先週報告

5月8日第558回例会

□会長報告

第2750地区岩井敏ガバナーより、先般の地区大会の経費を節約した結果、次の諸団体へ寄付することが出来たとの報告を頂きました。

R財団500万円（各クラブ名で寄付、当クラブ分 \$502.32 ￥65,301）

米山奨学会500万円、バギオ基金300万円、日本ユネスコ協会連盟300万円

□雑誌委員会報告（関委員）『ロータリーの友』5月号の読みどころ

①横組みP27 第2750地区大会の写真が紹介されています。

P39 全国各地RC数、会員数等紹介。

②縦組みP28 「女性会員不在のロータリークラブ様」

P25 「女性会員60%のパワー」

□慶事披露 ●お誕生日祝／宮武保義君（5月1日）、小原 健君（5月7日）

●100%出席／保森登君（11年）、伊部和夫君／堀内滋男君（5年）、金光圭一君（1年）

□出席報告 ●会員71名／出席39名・欠席32名（出席規定免除者1名）

ビクター（9名・敬称略・順不同）高野 十（仙台）、吉田雅俊（東京新都心）、梅岡総治（東京神田）、樋口宗雄（東京麹町）、伊神 稔（東京多摩グリーン）、森 紀二（東京銀座）、小見山了一、中井盛久、松方 清（以上東京南）



5月8日／12件 40,560円
97～98年度累計 2,005,992円
多額の寄付を有難うございます。
（順不同、敬称略）

沖 宏之／春の園遊会で天皇、皇后両陛下並びに宮様方々よりお言葉を頂戴致しました。金光圭一／一年になりました。谷 義一／吉田さん「東京発明展」での特許庁長官奨励賞受賞おめでとうございます。齊藤茂之／5月3日孫娘、空美が誕生しました。青野信次／娘が初月給でござうしてくれました。とてもおいしかったです。村山公士／昨日はクラブ会報委員の皆様御苦勞様でした。大日方さんありがとうございました。会の残金をニコニコに入れてさせていただきます。岩瀬秀郎／お久しぶりです。何回かサボりました。相澤成憲／日本は天候がままならないので先週済州島へ行って参りました。川鍋二郎／皆様ゴールデンウィークはいかがでしたか？吉岡さん、高須さん写真ありがとうございます。佐藤定宏／所用の為来週の火曜会と例会を欠席させていただきます。小杉真史／連休あけですが途中失礼します。島田昌雄／G・W皆さんお楽しみでしたか？お疲れご苦勞様です。

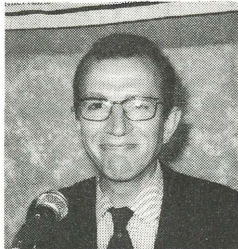
□卓話 イニシエーション スピーチ 「我が輩はヨーロッパ人である」

5月8日第558回例会

当クラブ会員

日欧産業協力センター事務局長

THIERRY CONSIGNY



T. CONSIGNY 君

私の生まれた町はフランス東部の、スイスまでわずか12キロのところにあります。人口が2000人程のとても小さな町です。子供の頃から、自転車で自由に国境を超えて、隣の町にいくだけで外国旅行を体験できました。しかし、同時に混乱におちることも少なくありませんでした。というのも、わずか12キロという距離で、言葉や（フランス系スイス人には訛があります）、町の様相、通貨等が変わってしまうからです。

フランスでは小学校から外国語教育が始まりますので、小学校から熱心に外国語を勉強しました。その当時、私の両親は小さな店を経営しており、夏にはよくテラスで手伝いをしたものでした。ドイツ語系スイス人の観光客と会話ができた時はとてもプライドが高かったのを思い出しますし、その上、スイス人からはよくチップももらいましたので、喜んだものでした。社会人になると「外国には一度住みたいかなあ」と思いました。大使になりたいと思った事もあります。

パリソルボンヌ大学経済学部とビジネススクール両方を卒業し、フランスの工作機械メーカーのアジア担当に就きました。1983年頃、日本、台湾、韓国、インドをよく出張しました。

その後、日本政府と欧州委員会の招きで、ビジネスと

日本語研修の機会を与えられ、1986年来日しました。1987年に研修が終わってからは、私は現在いる組織に転職しました。

さて、ヨーロッパ人と言う意識はどのようなものか。ヨーロッパ大陸の歴史を見ると、2000年前からヨーロッパでは統合されていた時代がありました。ローマ帝国に始まり、フランク王国、そしてハプスブルグ帝国に。現在ヨーロッパ連合で11の正式な言語があっても、全ての言語は大体ラテン語とギリシア語から来ています。ラテン語は18世紀までヨーロッパ間の交流言語でした。

私は日本でヨーロッパを発見したと言っても過言ではありません。初めて別のヨーロッパの国の人間と勉強又は仕事をしながら、ヨーロッパ人の意識がどんどんわかってきました。フランス語で「我らを結びつける共通点は相違点より強固なり」という諺がありますが、これはとても適当な言葉だと思います。私は、日本の通産省と欧州委員会が設立した財団法人に事務局次長として努めています。双方の産業協力を促進する為に様々な事業をしています。私は主に技術、産業と市場情報に関する活動をしております。

また私は、青山学院大学の非常勤講師として、週に一回、ヨーロッパの政治、経営と経済について教えています。この授業の準備で現在のヨーロッパの話題についてよく研究しております。今一番の話題は勿論欧州通貨統合です。今月の一日に正式にスタートして、この決定は

後戻りできないとよく言われています。間違いなく、欧州通貨統合は大成になると私は確信しています。
日本の方にはきつと、ヨーロッパ人と言う意識がわりにくいと思います。日本人はアジア人の意識が余りないでしょう。日本人はあくまで日本は固有な文化と習慣

を持っている国とと思っているのではないのでしょうか。
「我が輩は猫である」をしたっている人にとっては、「我が輩はヨーロッパ人」を主張するヨーロッパ人より、猫の言葉の方が現実味があるかもしれませんね…。

回第5回クラブ協議会議事録(その2)(前号からのつづき)

●武下会長

本年度は、ロータリーの中で、倫理問題についての協議が広がったと思う。資生堂の福原さんから、会社としての考え方をパネルディスカッションで聞いたが、素晴らしいと感じた。他の会社の考え方を聞いていくのも、今後の職業奉仕の展開の仕方も知れない。

●関国際奉仕委員長

R.Iは飢餓救済を1991年から10年間の最優先テーマとした。然し、地区はこれを識字率の向上に置き換えている。毎日餓えて3万人が死んでいる。幼児の栄養不良は脳の発達に重大な影響を及ぼす。飢餓は待ってられない。ロータリークラブもこれに真剣に取り組むべきだと個人的に考えている。

又、国際奉仕の寄付には、義務と義理が表に出ている。個人差があるのだから、出来る人は2回やっても良いのではないかと考えている。

●小杉修造ロータリー財団・次期国際奉仕委員長

国際奉仕活動は、お金を吸い上げることが仕事になっている感はない。
関委員長と良く引継ぎをしたい。

●吉岡SAA

会長・幹事の協力で卓話の前の雑談時間を10～15分設けることが出来た。又、カロリーや健康を考え和食を開始したが、費用はそう増えなかった。

●島田次期SAA

メーク・アップされた方で、他クラブで参考になる点があったら、是非教えて欲しい。

●入沢プログラム委員長

例会の時間の50%を卓話が占める。卓話の内容は非常に重要。又、各委員会との連携プレーが非常に大切だが、本年は特に情報委員会との連携を中心に据えた。

●田辺情報委員長

ロータリーは毎年変えることに意義があると思う。アメリカやヨーロッパの人々は、朝令暮改を恐れない。日本はなかなか前例や習慣を破れない。地区でもなかなか破れない。変えるべきものと変えていけないものを認識し、進化していくべきだ。今年度、武下会長は、非常に良いテーマを出されたが、もっと早くにこのテーマでクラブ協議会を開催すべきであったかも知れない。

情報委員会としては、会長の了承を得て、クラブセミナーを何回かやったが、30分と言う限られた時間では突っ込みも足らず、満足していない。然し、少しは良かったかなあ、と思うのは、新会員研修用のテキストを書いて見て、会合でそれを見ながら話しをしたが、記録として残りタネ本になると思う。是非事務局でキチンと保管し、役立てて欲しい。

「情報」に対する概念が、間違っているように思う。ロータリー情報は、ロータリー理論哲学情報であり、ニュースではないと思う。

●小杉眞史会員

①火曜会に集まってくる人が固定化されている。在り方を考え直さなくてはと思った。
(親睦副委員長として)

②週報の内容は、タイムリーでなくてはと思った。(会報委員として)

③食事より何より、卓話が大切と思う。会社に帰って活かせるようなプログラムを硬軟バランスよく考えたい。(次年度プログラム委員として)

●園谷会員

昔、ロータリークラブに世話になった、と言うのが入会と出席の動機だが、当クラブの卓話は面白いし為になると思う。火曜会には極力出席しているが、ロータリー歴や年齢の点で浮いている感がある。出席者が固定化している。

●福島会員

「とても楽しい」が第一義にある。卓話や会員の方の話は参考になるし、仕事の上でも活かせると思っている。

クラブは長く続けると、故郷みたいになるかなと思っている。

プログラムの卓話は、30分しかないの、スピーカーは苦勞していると思う。心して聞きたい。今後、クラブ運営に極力協力しなくてはと感じた。

●開発会員

期待通りの点と期待外れの点があったが、トータルとして入会して良かった。疑問に思っている点として、来期4つの委員会を引き受けた。ロータリーは断わってはいけない、と教育されたので、断われなかったが、チョット？女性会員について、もう少し早く、徹底した議論をして欲しい。

●柴本元会長

自宅の横浜の近くのロータリーに時々メーク・アップする。会員30名の内、男性は5名だけ。非常に卓話者に苦勞している。私自身もスピーカーを頼まれる。地方からメーク・アップに来られた方に2～3分話しをしてもらってはどうか？

●河原前会長

ロータリーには、守らなければならない枠組み、ルールがあると思う。新しいだけを追究するのは、如何なものか。又、面白いから来る、面白くないから来ないと言うのは違うのでは？
面白くする努力が必要ではないか。

●山川元会長

来年、情報委員長を命ぜられている。それだけで頭が一杯。田辺さんのもとで、行儀見習いをしたが、卓抜した親父の息子は大変だ、と痛感している。

●渡邊元会長

河原さんと全く同意見
一昨年、10月のI.Mから今まで1年半、非常に有意義な期間だったと感じている。
I.Mの成果が生きてきていると思う。
守らなければならないものを守りながら、新しい事を追求して行かなくてはいけないと考える。

(文責会報委員会)

◎次週予告

5月22日第560回例会

昼間の例会はありません。

回夜間例会／レディス・デー

“上月美智子ポルトガルの哀愁、ファドコンサート”

18:00～20:00

東京新南ロータリークラブ

会長：武下 朗 副会長：山下忠治 幹事：渡部一元

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、

青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、

田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、

立林 英昭、吉田 用親、村山 公士

(編集担当順)